

○関東・中部地方の地震活動

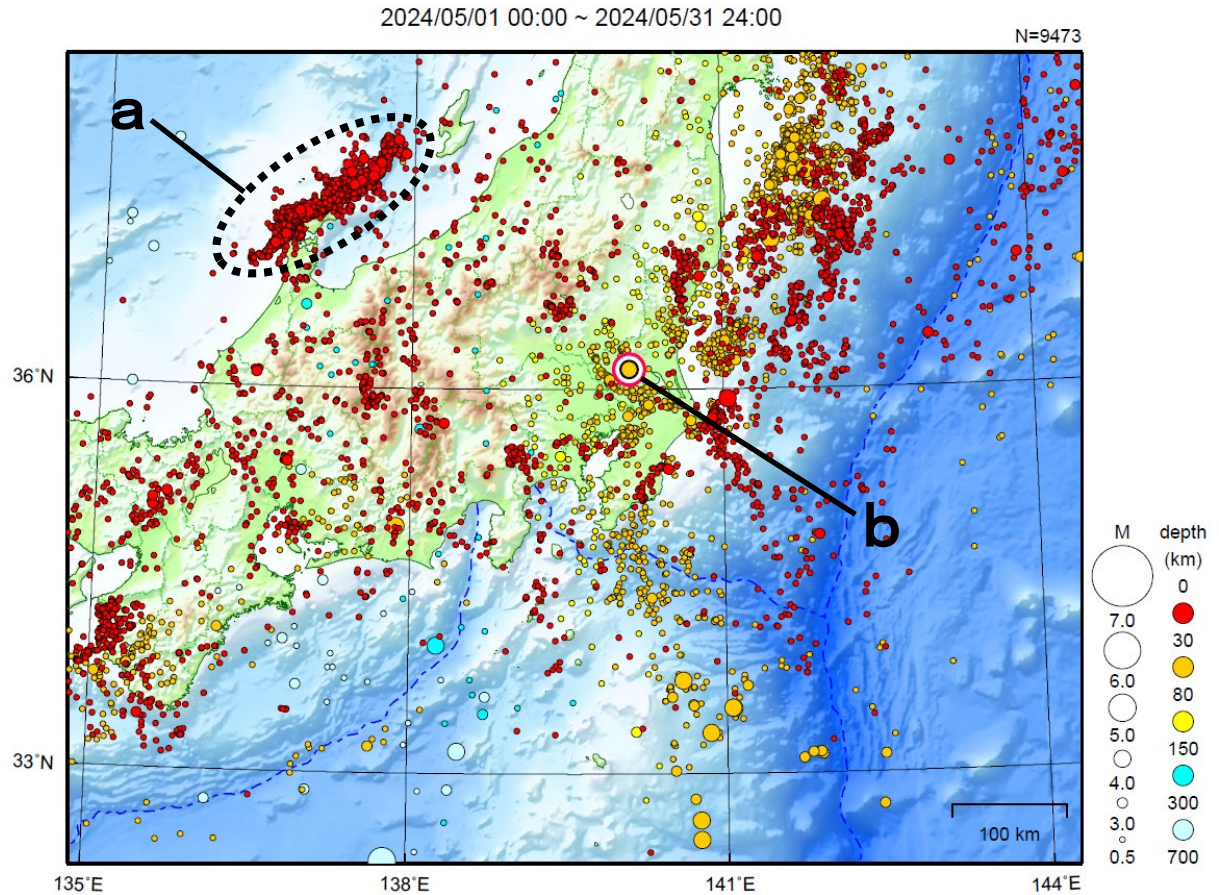


図7 関東・中部地方の震央分布図（2024年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

5月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は60回（4月は81回）であった。

5月中の主な活動は次のとおりである。

- a 「令和6年能登半島地震」の地震活動域では、5月中に震度1以上を観測した地震が28回（震度3：2回、震度2：6回、震度1：20回）発生した。このうち最大規模の地震は、10日18時50分に石川県能登地方の深さ11kmで発生したM3.8の地震及び10日19時40分に能登半島沖の深さ14kmで発生したM3.8の地震である。10日18時50分の地震では石川県輪島市で震度3を観測したほか、石川県で震度2～1を観測した。10日19時40分の地震では石川県珠洲市で震度1を観測した（p.9～12参照）。
- b 26日00時55分に茨城県南部の深さ66kmでM4.7の地震が発生し、関東地方で震度3を観測したほか、東北地方南部から中部地方にかけて及び伊豆諸島で震度2～1を観測した（p.13）。